

情報活用委員会

<Mission>

- ・企業の国際競争力強化のための情報調査力の向上
- ・多様化する情報に対する分析力の向上
- ・国内外の特許情報施策への提言

第4小委員会 4-1WG

G16Yを用いたIoT分野の特許調査に関する研究

IoTに特に適合される情報通信技術に付与されるサブクラス「G16Y」を使用した検索を検討

2020年：G16Y発行

- ・ G16Y10
業種
- ・ G16Y20
モノにより探知または収集された情報
- ・ G16Y30
IoTインフラストラクチャ
- ・ G16Y40
情報処理の目的に特徴のあるIoT

現在：5大特許庁IP5
計10,000件超



- G16Yの付与実績に基づいて
- ✓ G16Yの特徴を把握
 - ✓ G16Yを使用する検索の留意事項を紹介する

分析

情報

第4小委員会 4-2WG

欧米共通特許分類CPC付与に関する現状把握と活用策の検討



- ✓ 欧米中韓のCPC付与の現状を4つの異なる特許DBで調査する
- ✓ CPCとIPCの付与個数を定量的に比較してCPCの活用策を考察する

第1小委員会

コーポレートガバナンス・コード改訂に適した、知財情報の収集と分析に関する研究

コーポレートガバナンス・コードの中で求められている知的財産への投資に関する情報開示に向けて、**各企業の開示内容を整理・分析**し、**現時点で好適と考えられる知財情報発信の内容・方法**をまとめ、会員企業に提供する。

業種	CG報告書での開示			指標		戦略		ガバナンス体制	
	記載の有無 ※「実施しない理由」での記載は除く	統合報告書等への誘導・リンク	誘導・リンク先での開示	特許・意匠・商標自体の件数の開示	具体的な内容 例：国内外の出願件数・事業別の保有件数	統合報告書の価値創造（創出）ス	知財・特許以外の知的資本 例：ノウハウ・データ・研究開発など	CG報告書	知財組織体制の開示 具体的な記載の抜粋
電気機器	○	○	○	×	—	○	プラットフォーム技術	×	—
化学	○	○	○	×	—	○	—	×	—
化学	○	○	○	×	—	○	コア技術件数	×	—
電気機器	○	○	○	×	—	×	ノウハウ、コア技術に	×	—
電気機器	○	○	○	×	—	○	ブランドに関する記載	×	ディスクロージャー委員

経営

戦略

第2小委員会

知財ミックスを用いたIPランドスケープに関する研究

IPLで活用されている知財情報は特許が中心

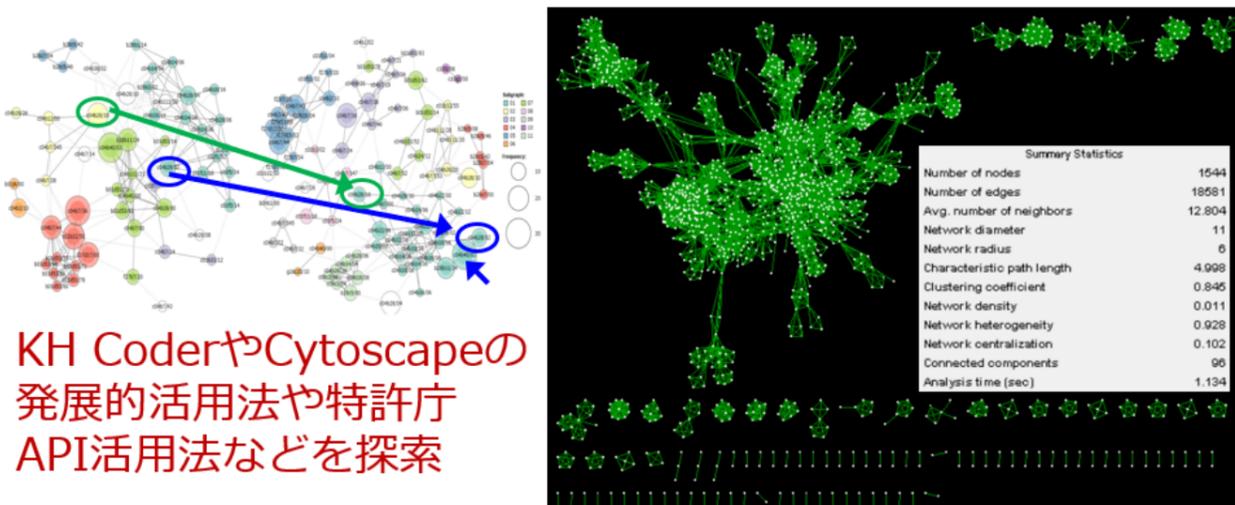
特許・意匠・商標を組み合わせたIPL手法について研究



第3小委員会

無償ツールの活用可能性に関する研究

2020年度研究テーマ「データベース搭載の特許スコアを活用した企業価値評価の検討」および「知財情報分析におけるAI等の活用に関する研究」にて得られた知見を活かし、具体的な活用案を会員企業に提供する。



KH CoderやCytoscapeの発展的活用法や特許庁API活用法などを探索